

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		子育て短期支援				所管	区民部 子ども家庭支援センター		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	16	計画事業名	子供トワイライトステイ・ショートステイ		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 2 多様なニーズに対応した質の高い保育サービス					[事業開始] 平成 2 2 年度 [終了予定] - 年度		
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]		児童福祉法、子ども・子育て支援法、台東区子育て短期支援事業実施要綱 台東区乳幼児ショートステイ事業実施要綱				
	事業対象	直接の対象 : 台東区に住所を有する0歳から小学校6年生までの健康で集団保育が可能な児童 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	保護者の疾病、仕事その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童に対して養育を行い、児童および家庭の福祉の向上を図る。							
	事業内容 [H30年度]	①ショートステイ事業 定員:5人/日 利用限度:7日(月) 利用金額:6000円/1泊(連続した2泊目からは1泊3000円) ②トワイライトステイ事業 定員:5人/日 利用限度:30日(6カ月) 利用金額:2000円/回 受付:日本堤子ども家庭支援センター・台東子ども家庭支援センター 実施施設:ほうらい子育てサポートセンター ③乳幼児ショートステイ事業 定員:1人/日 利用限度:7日(月)利用金額:6000円/1泊(連続した2泊目からは1泊3000円) 受付:日本堤子ども家庭支援センター・台東子ども家庭支援センター 実施施設:日本赤十字社医療センター附属乳児院							
	委託の有無	一部委託	委託内容		ショートステイ・トワイライトステイ事業運営				
	補助金の有無	国・都							
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	定員/日(ショートステイ・乳幼児ショート)	人	6	6	6	6	6	100.0%
		定員/日(トワイライトステイ)	人	5	5	5	5	5	100.0%
	成果指標	ショートステイ・乳幼児ショート利用数	泊	230	47	120	87	230	37.8%
		トワイライトステイ利用数	回	75	50	31	31	75	41.3%
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			16,067		16,258		16,213
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			5,531		6,285		7,494
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			16,068		16,258		16,213
総経費			0		0		0		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			21,599		22,543		23,707	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			143		270		352	
	一般財源(区負担額)			332		754		536	
課題及び今後の進め方	虐待防止・育児支援の観点から、支援が必要な家庭の児童を一時的に預かり、保護者に対して児童の発達や生活環境について指導・助言を行うショートステイ事業を実施する。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	児童虐待防止・育児支援の観点から、保護者の疾病・仕事・育児疲れ等への適切な助言・支援を行う本事業は必要性が高い。						
	効率性	3	申請窓口の増加と保健所との連携による周知活動が一層進んだことで、利用者の利便性が向上した。また、事前に家庭の状況を把握し、必要時にサービスが円滑に進められるようにしていく。						
	手段の適切性	2	利用登録(更新)により、事前に家庭の養育状況を把握することができ、円滑な利用申請を進めることができた。長期的な支援が必要な家庭については、より状況に合わせた計画的な利用方法の改善が必要である。						
目的達成度	1	年度により利用数の増減はあるが、センターで把握することができた当事業を必要とする家庭には利用を案内し、育児負担の軽減のための適切な支援ができた。今後は関係機関にも周知を深め、当事業を必要とする家庭の利用を進めていく。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
本事業の実施にあたっては、家庭の養育状況に合わせたきめ細やかな対応を行うことで適切な支援に繋げることができた。今後は、育児支援及び虐待の未然防止を図るために、新たに要支援家庭を対象としたショートステイ事業を実施し、適切かつ継続的な支援を実施できるよう、事業内容を充実させていく。						拡大		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	